Dictyota sp. あみぢぐさ一種

Sargassum sp.

紅藻類

Nemastoma Nakamuræ YENDO ひかげのいと

Grateloupia sp. むかでのり一種

" *filicina* f. *porracea* HOWE? うつろむかで?

Laurencia sp. そゞ一種

Hypnea sp. いばらのり一種

以上ノ外故神保小虎氏ノ樺太ニテ採集シタルモノ三種アリ是ハ多分同氏ガ明治二十四年(1891)エトロフ島ニ航シテ地質調査ノ傍植物ヲ採集シタ事ガアルカラ多分其時ノモノデアラウ。

Odonthalia corymbifera はけさきのこぎりひば

Laminaria ochotensis MIYABE りしりこんぶ

Agarum Turneri あなめ

つきよだけノ二三ノ觀察

松田孫治

M. MATSUDA: On *Pleurotus japonicus* KAWAMURA.

つきよだけニ就テ植物及動物第一卷第十二號ニ、朽木內ノ菌絲及ビ莖部內ノ一部分ガ發光スルコト、或種ノ鳥(山鳥?)ガ食スルコト、中央ニ莖部ヲ有スルモノアルコトヲ報ジタガ、其ノ後ニ於ケル觀察ニ就テ述ベテ置キタイト思フ。

a) **菌絲ノ發光** 本菌ノ褶部ノ發光スルコトニ就イテハ、昔ヨリ月夜茸トシテ又教科書ノ或モノニハ發光ノ有樣ヲ描ケルモノガアル程デ多クノ人ノ知ル所デアル。川村清一博士ハ日本菌類圖說(昭和五年)No. 216 ニ、「朽木內ニ存スル菌絲ニハ發光性ナシ」ト明記ス。松浦勇氏ハ(應用菌蕈學研究(昭和八年)38頁)BULLER 氏ニ據ツタト云フ表中ニ發光部ハ菌褶ト、同ジク 41 頁ニハ 1915 年ニ川村博士ガ發表セルモノナリトシテ菌絲ノ發光セザルコトヲ記述シテキル。小林義雄學士ハ綜合理科教育講座、菌類(昭和九年)18 頁ニ「菌絲、傘ノ上部、胞子等ハ光ラナイ」ト、同ジク 28 頁ニ「褶ハ雪白デ暗所ニ於テ發光スル」ト

述ベテ菌絲ノ發光セザルコトヲ述ベテヰル。コレヨリスルト本菌ノ菌絲ノ發光ハ未ダ知ラレテヰナイ樣デアル。然ルニ小林氏ハ前述ノ菌類 14 頁ニ外國產ノ *Pleurotus* ニ所屬スル十種餘ノモノハ菌絲ニモ發光性アルコトヲ述ベテヰル。私ノ觀察デハ菌絲不發光ノ說ヲ否定シテヰル。

昭和八年上記發表ノ原稿ヲ植物及動物編輯部ニ送附ノ後、秋田縣北秋田郡大葛村（昭和八年發表ノ觀察資料ノ產地）ニ於テ、十月二十九日既ニ子實體ガ腐朽シ去リ莖部ノ一部分ノミ殘シモノノ、莖部ノ附着部位ヲ中心ニシテ幅 3 cm 長サ 5 cm 厚サ 1 5 cm. 位ニ切リ取リ其ノ夜ノ觀察ニ依ルト、樹皮ノ下層及ビ木部上層ノ菌絲ノ錯綜シテ白色ヲ呈セル部分ニ明カニ微光ヲ認メタ。更ニ昭和九年 8 月秋田縣北秋田郡前田村ニ於テ、本菌ノ發生セルぶなのきノ部分ヲ莖部ノ附着部位ヲ中心ニ幅 5 cm. 長サ 15 cm. 厚サ 3 cm. 位ニ切リ取リ其ノ夜ノ觀察ニ依ルト、木部ノ全部及ビ樹皮ノ下層ニ襴部ノ光度ニ殆ンド等シイ發光ヲ認メタノデアル。

資料ノ產地ヲ異ニスルガ故ニコノ考ヘガ或ハ不當ナルカモ知レナイガ、上記ノ如ク秋季ニ微光ヲ、夏季ニ明瞭ナル發光ヲ認メラレタルハ、夏季ハ溫度高ク菌絲ノ呼吸作用旺盛ナル故デアルラシイ。川村博士ノ明治四十二年信濃國戶隱山ニ於テ觀察セルハ十月中旬デアルト云フカラ、發光ノ不明瞭ナル季節故ニ上記ノ如キ結果ニナツタノカ、或ハ又生理的品種ノ差異カノ何レカデアル。私ハ前者ダト考ヘル。

b）**氣象狀態ト本菌トノ關係**　昭和九年東北地方ハ例年ニ比シテ、夏季ノ氣溫低下シ且降雨ガ多カリシ爲ニ、稻作ノミナラズ菌類界ニモ影響ヲ及ボシ一般ニ菌蕈類ノ發生ヲ早カラシメルニ至ツタ。

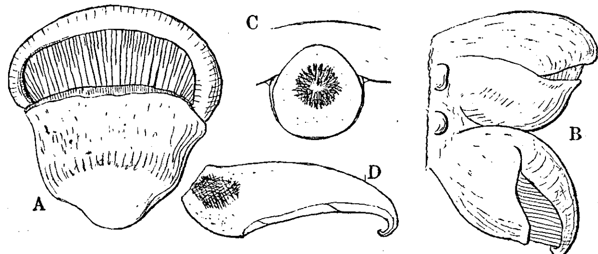
私ハ八月一日ヨリ四日マデ北秋田郡前田村ニ在ル森吉山ニ植物採集旅行ヲナシタ時ニ該地ノ本菌ノ發生狀況ヲ觀察スルコトガ出來タ。森吉山ハ海拔 1454 m ニシテ略 1000 m 以下ハ廣大ナルぶなのきノ森林地帶ヲナシ、コノ森林中ノ立枯ヤ倒レタぶなのきニ大形ノ成菌ガ何レニモ多數生ジ、或1本ノ大木ノ立枯ニハ 200 個以上モ密生シテアツタ。コレ等ノモノヲ夜間ニ見タナラバ定メシ奇觀ヲ呈シテアツタデアラウト思フ。昭和八年ニモ八月一日ヨリ三日マデ此地ニ旅行シタガ、發生シアルヲ見ナカツタノデ、林中ニ居ツタ五十歲位ノ炭燒夫ニ、每年此ノ山ニ夏季ニ本菌ガ發生スルヤ否ヤヲ問フタ所、彼ハ本年ハ特別早ク多數生ジタト答ヘ、老人等ノ談ニヨレバコノ樣ナル年ハ凶作ダトイフコトヲ附ケ加ヘタ。又八月九日ヨリ十四日マデ、鹿角郡宮川村ノ岩手縣トノ境ニ聳エル八幡平方面ニ旅行ヲシタ所、矢張ぶなのきノ立枯等ニ多數生ジテヰルノヲ見タ

ガ、昭和六年及ビ八年ニコノ地ニ八月上旬ニ旅行シタガ、本菌ノ發生ヲ見受ケナカツタ。昭和九年八月十六日ノ東京日々新聞ノ地方點描トイフ欄ニ、「金菱山ノ月夜茸」ト云フ見出シデ宮城縣ノ金華山ニ、本菌ガ多數發生セルコト及ビ夜間ノ發光ノ有様ヲ記シテアツタノデ、秋田縣北部ノミニ限リ本菌ノ多數而モ早ク發生セルモノデナカツタコトガ分ツタ。

本菌ハ昭和八年デハ秋田縣北部ニアリテハ、九月下旬ニ發生シ初メタガ、昨年ハ八月上旬ニ既ニ成菌ヲ見タノデアルカラ、1個月以上早ク發生シタコトニナル。さくらしめぢ (*Tricholoma russula* (SCHÆFF.) FR.) ノ如キモ八月上旬ニ發生ヲ見タ。本年ノ如キ氣象狀態ノ下ニハ夏季發生シ、コレニヨリ凶作ト云フマデデナクトモ稻作ノ減收ガ夏分ニ豫想セラレル様デアル。昨年ノ如キ氣象狀態ガ續キタル際ニハ次ノ年ニモ夏季ニ發生スルヤ否ヤ興味アル問題デアル。

c) **本菌トねずみ** 昭和八年ノ秋、家ニ棲ムねずみヲ1匹生捕リ、ばけつニ金網ヲ蓋シテ1ケ月程飼養シタ際ニ、本菌ヲ食スルヤ否ヤヲ試驗シテ見タ所ヲ述ベル。先ヅ半日位食ヲ絶タシメテ後本菌ノ一片ヲ與ヘテ、數時間ノ後コレヲ取リ出シテ檢ベタルニ、嚙ミタル傷サヘ認メナカツタ。次ニ時々干鰯ノ頭 2–3 個ヲ與ヘタルニ直チニ食シ初メタノデ、ねずみハ本菌ヲ嫌ヒテ食セザルコトガ分ツタ。

d) **本菌ト むきだけ ノ 發生ノ 時期** 本菌ハむぎだけ (*Pleurotus serotinus* (SCHRAD.) FR.) トガ形態ガ似テ居ル故ニ、往々ニシテ誤ラレルコトガアルガ、莖ノ基部ノ內部ノ暗色部ヲ以テスルトキハ決シテ誤ルコトハナイ又發生ノ時期ニ注意シテモ容易ニ兩者ヲ區別スルコトガ出來ルモノデアル。



つきよだけ (*Pleurotus japonicus* KAWAMURA) ノ幼菌。
A. 下面ノ圖。 B. 2個重リ生ジタル幼菌側面圖。 C. 莖ノ基部ノ横斷面ニ現レタル暗色部ヲ示ス。 D. 縱斷面ノ圖。(略實物大)

昭和八年十月八日ニ十數個本菌ガ生ジタぶなのきノ腐朽木ニ、十月二十九日行ツテ見ルト本菌ノ方ハ既ニ腐敗シツツアツタガ、前ニ見ラレナカツタむぎだけガ發生シ初メ蕾ヲナシテ居ツタ。又昭和九年ニハ前述ノ如キ本菌ハ八月上旬ニ見タノデアルガ、むぎだけハ十月上旬(十月七日初メテ幼菌ヲ採集ス)ニ發生

シタノデアル。

摘要 a) つきよだけノ朽木内ノ菌絲ハ從來發光性ガナイトセラレタガ、明瞭ナル發光ヲナシ、夏季ニ發光ガ強イ様デアル。 b) 昭和九年ノ如キ夏季冷涼多雨ノ年ニハ、夏季ニ本菌ガ發生シ、非常ニ多ク生ズルモノデアル。 c) 家ニ棲ム鼠ハ本菌ヲ食セズ。 d) 本菌ト類似菌ノむきだけハ本菌ヨリ遲ク發生シ、本菌ノ後ニ續イテ發生スル。

雜錄 Miscellaneous

○はしりどころ秋田縣ニ産ス

はしりどころ (*Scopolia japonica* MAXIM.) (なす科) ノ分布ニ就イテ、牧野・根本兩氏ノ共著トナツテキル日本植物總覽(改訂版) 1048頁ニ、「本州(中南部)・四國」トアルガ、結城嘉美氏ノ山形縣植物誌 86-7頁なす科中ニ集錄セラレ、分布ニ就キ同縣ニ極稀ナルコトヲ述ベテキル。村松七郎氏ノ秋田縣植物誌及ビ同補遺 (1932) ニハ收錄セラレテヰナイ。(昭和 9 年 3 月同氏ヲ訪問セル際、コノ標本ヲれんぷくさう、えなしひごくさト共ニ氏ニ進呈シタカラ、次ノ補遺ニコレ等ヲ收メルト思フ。)



私ハ昭和8年5月某日、北秋田郡大葛村ノ山地ニ本種ノ自生ヲ見出シコレヲ採集シタ。大葛村ニアリテモ自生地ハ小範圍ニ限ラレテ、珍シイ植物ニ屬スルモノデアル。

本種ハ藥用植物ニ屬スル故ニ栽植セラレテヰルヤ否ヤヲ調査シテ見タガ、同村内ニハ方言サヘモナク、栽植セラレテヰルモノガ見當ラナイ。(松田孫治)